

年	章	条	主な改正事項
1934	S9		国際バドミントン連(IBF)創設 LAWS OF BADMINTON改正
		35	3月10日バドミントン規則書発行 ナト・ホウ・岡 藤吉編 細則イ〜ヌ
1941	1945		(太平洋戦争)
1949	24	35	3月10日最新国際競技規則書発行 全日本バドミントン体育会・宮沢宏之編 細則イ〜ヌ
		21	4月5日バドミントン規則発行(1939年のIBFルールを和訳) 日本バドミントン協会・山田文雄編 ライン幅一吋半 白、黒他明瞭な色 ポストの高さ五呎一吋 ダブルスと男子シングルスは十五点或は二十一点 婦人シングルスは十一 セッティング (サービスがネットに触れたときレット) 解説一〜五 用語解説
1950	25	20	10月17日シャトルコック公認規程制定
1951	26	13	公認審判員資格審査規定制定
1953	28	5	5月4日大会運営規定制定 第3ゲームの前休憩5分、副審、着衣単一色、放棄試合は2-0 15-0 15-0とする 審判用語
1955	30	22	競技規則改正 インターバル5分以内
1958	33		IBF メートル法採用
		17	2月27日用具検定規定制定 ネットを追加
1960	35		IBF RECOMMENDATIONS TO UMPIRES 制定
		22	競技規則改正 審判用語1〜35追加
		12	75 大会運営規定改正 年次大会8 天井6米 区域1.5米 余積1米 照明300ルクス、事故タイム10分以内、副審、白一色、放棄試合
1961	36	10	公認審判員規定制定 現行公認審判員資格登録規定相当
1962	37		ラケットの推薦制度始まる
1963	38	22	競技規則改正 漢数字を算用数字に
		6	27 公認審判員資格審査委員会規定制定 現行公認審判員資格登録規定相当
1964	39	33	6月6日審判員心得制定 現行公認審判員規定相当 審判用語1〜17改正
1966	41	22	競技規則改正 インターバル5分
		12	74 大会運営規定改正 (副審削除)
1968	43	12	73 大会運営規定改正 (事故タイム削除)
1969	44	22	競技規則改正 (ダブルヒット削除)
1972	47	22	競技規則改正 プレーヤーの定義、アバプザハンドの図追加
		13	80 大会運営規定改正第10章表彰追加、天井8米 区域1.5米 余積1.5米 照度500ルクス
		6	17 7月23日公認指導員資格審査規定
1976	51	13	82 大会運営規定改正 第13章付則で2条追加
1978	53		用器具検定工場制度始まる ポスト(ネットは1980年から)
1980	55	22	競技規則改正 シャトル第4条第4項 羽でない物質で作られたシャトル(後の合成球) 第14条第4項 サービスの始まり(ラケットの前方への初めての動き)
1983	58	23	競技規則改正 羽根打ちサービスはフォルト 不法行為(スピードの妨げ、粗暴な振るまい)追加
		20	10月15日用具検定審査規定制定
1984	59		IBF 国際審判員制度制定
		23	競技規則改正 ラインの色は白または黄 セッティングがセティングに シャトルの一部 第21条(スピードの妨げは不法行為)追加 付則(障害者のバドミントン)制定
1986	61	22	競技規則改正 ラケットの規定 第21条削除 解説1〜4
		7	35 大会運営規定改正 役員要項解説追加 年次大会15 天井12m 区域2m 余積2m 照明1200ルクス 色着き着衣
		42	7月1日公認審判員規定制定(旧審判員心得)
1987	62		IBF オプショナルテストマーク採用 RECOMMENDATIONS TO COURT OFFICIALS 制定
		21	競技規則改正 サービスの空振りにはフォルト
		19	大会運営規定改正オプショナルテストマークの採用
1988	63	19	競技規則改正 条項を整理して19条に、第5条ラケット、第6条用具の検定新設、解説4項目から8項目に
		8	39 大会運営規定改正 付録(要項 役員)
		6	公認審判員規定改正 審判用語1〜21
1989	H1	19	競技規則 第18条第6項改訂、解説8⑤削除
1990	2	19	競技規則改正 解説2.5.6.8一部表現改訂
1994	6		IBF 国際レフェリー制度制定
1997	9	19	競技規則改正 第5条ラケット改訂、アバプザハンドの図にバックハンドを入れる
		6	公認審判員規定改正 シグナルのイラストが変わる
1999	11	17	競技規則改正 冒頭に定義 付録1〜4(審判用語1.1〜4.3) 付則(障害者)
		5	13 国際審判員資格者養成規定制定
2000	12	17	競技規則改正 ラケットのフレーム等 障害者のバドミントンを全面改訂
		8	37 大会運営規程改正 運用細則を付加、ト杯・ユ杯の正式名称の変更等
		6	公認審判員規程改正 アナウンスメントの変更
		5	17 公認審判員資格登録規定改正 4グレード(1級〜3級、準3級)、申請料、資格登録料の変更
2001	13		IBF イエロー・レッド・ブラックカードの採用
2002	14		IBF 女子複と混合複は15ポイント3ゲームより11ポイント3ゲームに(国内では採択せず) 規定を規程とする
		17	競技規則改正 インターバルは第1ゲームと第2ゲームの間 90秒 第3ゲームの前 5分以内
		38	大会運営規程改正 第18条失格に関する規定追加
		6	公認審判員規程改正 サービスの遅延行為は主審が判定、インターバル中の不品行な振舞い 線審OUTの合図変わる
		4	15 公認審判員資格登録規定改正 第13条に(1級は5年間)を付加、第5章付則削除
2003	15		IBF 障害者のバドミントン全面改訂
2004	16	17	競技規則改正 定義にラリー追加、審判用語一部改訂
		8	38 大会運営規程改正 第1種年次大会20に、国際大会11に、スコアシート記入例
		6	公認審判員規程改正 第3条第3項一部改訂、サービスジャッジの合図の順番変更、線審OUTの合図戻る
2005	17	5	16 公認レフェリー資格登録規程制定
2006	18	17	8月競技規則改正 定義にストローク追加、アバプザハンドのフォルト削除、ラリーポイント制、全種目21点3ゲーム、20オール後は2点リ ードしたサイドの勝ち、30点が最終、インターバルは11点のとき60秒、ゲームとゲームの間は120秒 ウェストの定義 審判用語一部改訂、障害 者のバドミントン全面改訂
		8	39 大会運営規程改正 第1種年次大会22に、第20条、第21条、第22条削除し第15条、第16条、第20条、第23条新設 スコアシート4段に
		5	16 公認レフェリー資格登録規程制定
2008	20	17	競技規則改正なし
		8	39 大会運営規程改正なし
2010	22	17	競技規則改正 定義のストローク改正、審判用語一部改訂、障害者のバドミントン全面改訂
		8	40 大会運営規程改正 第23条新設
		6	公認審判員規程改正 第3条第5項(8)一部改訂、(9)(10)新設、第7項(2)一部改訂
		4	15 公認審判員資格登録規程一部改訂
		5	13 国際審判員資格者養成規程一部改訂
		5	16 公認レフェリー資格登録規程一部改訂
2012	24	17	競技規則改正 障害者のバドミントンがパラバドミントンに
		8	40 大会運営規程改正 第1章第5条一部改訂 第2章第6条第1種年次大会22に 第4章 第22条 真剣なプレーをしない(新設)
		6	公認審判員規程改正 第3条第5項(6)コーチの服装(追加)
		9	公認審判員資格審査認定委員規程 第9条 70歳定年制の廃止
2014	26	17	競技規則改正 第9条第1項(6)一部改訂 審判用語一部改訂、パラバドミントン第17条にインスタントリビューシステム(IRS)
		8	40 大会運営規程改正 第1章第5条一部改訂 第2章第6条第1種年次大会23に 第9条国際大会13に
		6	公認審判員規程改正 第5条第5項(6)②一部改訂
2016	28	10	競技規則改正 第9条第1項(6)一部改訂 審判用語一部改訂、パラバドミントン第18条にインスタントリビューシステム(IRS)
2017	8	40	大会運営規程改正 第1章 第9条国際大会14に
		6	公認審判員規程改正 第3条第5項(6)②一部改訂
2018	30	17	競技規則改正 第9条第1項(6)一部改訂シャトルの高さ1.15m以上 審判用語改訂 付録6 チャレンジシステムの概要と主審の処置追加
2019	8	41	大会運営規程改正 第1章 第9条国際大会15に
		6	公認審判員規程改正 第5条第5項(8)②一部改訂